

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		井戸湧水復活再生公園管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也	
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	企画財政課	担当者名	工藤 一伸	
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	政策企画班	(内線)	1244	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	5
		1	2	1	11	-			コスト削減優先度評価結果	9
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		17	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (		~	年度)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 旧西合志町が井戸湧水復活再生事業として整備に取り組んだ緑地(2箇所:城区・江良区内)について、その整備目的、手法及び湧水による地域憩いの場の復活という観点と信仰との関連から、公園としての位置付けがなされず、企画財政課にて所管し、通常維持管理を地元区にて行い、規模の大きな改修や補修は市にて対応する事業である。 【業務の流れ】 通常維持管理は、地元区(城区、江良区)で行うため、経費の支出はないが、大規模の改修、補修については、公共事業として市で対応する。状況に応じて関係各課と連携し効率的に実施する。 【主な予算費目】 なし										

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 観音の泉水公園の市道側土手補修に伴い、通常維持管理(城区、江良区)にとどまった。観音の泉水公園については、隣接民地(池田武利氏)側との境界確認を行なった。また、平成20年2月に江良区から、観音堂裏手の土手補強について要望書が提出されたことに伴い、崖の補強に向けた区との協議、隣接地権者との協議を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・従来どおり通常維持管理は地元区(城区、江良区)で行なう。江良地区については、崖地の整備工事を実施するが、別に江良地区湧水公園崖地整備事業としてマネジメントシートを作成して取り組む。 ・日常管理のあり方について地元区と協議を行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 井戸湧水復活再生事業により整備した公園(2箇所)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 管理のために地元区や関係者と調整を行った回数 → イ 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正に管理される。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 関係公園数 → イ 箇所
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 快適な住環境で暮らすことができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 管理に対する苦情、要望等に対応できた割合 → イ %
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 苦情件数とその対応率 → イ %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	4	2	3	3	2		2
		延べ業務時間	時間	210	36	24	26	36	16		16
(B) 人件費計		千円	834	143	96	103	143	64	64		
トータルコスト(A)+(B)		千円	834	143	96	103	143	64	64		
活動指標	ア イ	回	30	10	20	12	8	6	4	6	
対象指標	ア イ	箇所	2	2	2	2	2	2	2	2	
成果指標	ア イ	%	100	100	0	0	100	100	100	100	
上位成果指標	ア イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成11年度旧西合志町企画課で、井戸湧水復活再生事業(平成11年度環境保全施設整備費補助金)により整備した2箇所の公園について、整備した部署として企画財政課が所管してきた。整備の際、地元との協議により日常管理は地元区(江良区、城区)で実施することとしている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
現地は市有地であり、平成18年度、長雨により観音の泉水公園の一部と公園に隣接する民地の土手が崩壊した。被害の規模が大きいため、隣接民地を市で購入(交渉:企画課、予算:建設課)し、建設課の道路災害の一つとして復旧を実施し、公園斜面と一体的な復旧を行った。平成19年度は通常管理のみで対応できた。また、下の井川湧水公園(城区)では、平成18年度に地元有志による空洞ブロック積みの用水路側整備が実施された。管理の効率化を図るため公園管理に一元化する内部協議を行なったが、急傾斜地で土手が露出したままの危険な状態では公園としては扱えないとの判断から、整備した部署である企画財政課で所管し、地元との窓口対応等を行っている。平成20年2月、江良区(観音の泉水公園)から、隣接する観音堂の裏手の土手を補強するよう要望があり、災害の未然防止のため、平成20年度で工法の検討や関係地権者との協議等をすすめ、平成21年度で補強を実施する旨回答している。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特に聞いているいない。  
現時点では、江良区からの補強要望のみである。

事務事業名	井戸湧水復活再生公園管理事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 対象の「井戸湧水復活再生事業により整備した公園(2箇所)」が、意図の「適正に管理される。」ことにより、結果の「快適な住環境で暮らすことができる。」に結びつき妥当である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 通常規模及び日常の維持管理は地元区民が愛着を持って行っており、土地及び施設の所有権を市が有することから、市で行う管理は規模の大きい災害復旧等に限定されており、公共の関与は妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象の「井戸湧水復活再生事業により整備した公園(2箇所)」、意図の「適正に管理される。」は、対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 通常の維持管理を地元区で行い、大規模な補修等を市が実施することで管理していく事業であり、成果としての向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 不測の災害や施設の損壊、地元区との対応など、事務事業の廃止によって市民及び利用者に迷惑をかけることとなり、影響がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 将来に亘って安全に利用できる環境整備が前提となるが、他の公園とともに一元的に管理を行う方法が考えられる。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 公園として管理するには、利用者の安全確保と良好に維持管理できることが前提であり、そのための環境整備には莫大な費用を要するため、費用対効果の面から、現段階での統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現時点で維持管理に対する経費は発生していない。 別にシートを作成する江良地区湧水公園崖地整備事業により、最低限の安全性(人的、財産的に被害が及ばない範囲)を確保するための補強策を講じる必要があり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の維持管理(地元管理)を行うにも、相応の対応が必要であるが、地元管理の質向上により若干の削減の余地はある。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市有地の適正な財産管理を行なうことは当然であり、公園としての形態は不特定多数の利用を可能としており、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性のうち、類似事業との統廃合について、他の公園とともに一元的に管理を行う方法が考えられる。公園として管理するには、利用者の安全確保と良好に維持管理できることが前提であり、そのための環境整備には莫大な費用を要するため、費用対効果の面から、現段階での統廃合はできない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 有効性評価の類似事業との統廃合について、他の公園とともに一元的に管理を行う方法が考えられるが、公園として管理するには、利用者の安全確保と良好に維持管理できることが前提であり、そのための環境整備には莫大な費用を要するため、費用対効果の面から、現段階での統廃合はできない。 従来のとおり、地元との連携により適切な管理を行っていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成21年度で実施予定の江良地区湧水公園崖地整備事業(別新規事業シート)により、環境整備が行われることが望まれ、施工には地元区(江良区)と関係地権者の協力がぜひ必要である。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )